

経営指導員が発見! キラ★星 企業

No.87

姫路商工会議所には様々な業種や規模の事業所が加入されています。

そのなかで、当所経営指導員が出会った「キラッ」と光る事業所の取り組みをご紹介します!



画家志望のオーナーが開いたギャラリー

ギャラリー河崎は、画材・額縁販売と美術画廊のお店だ。オーナーの河崎氏は、昔から絵を描くことが好きで、18歳の時に画家になることを決意した。姫路駅前の画材店で働きながら、姫路ゆかりの前衛画家・故小野田實氏に木炭デッサンや石膏デッサンなど、デッサンの技術を徹底的に叩きこまれて腕を磨いた。画家として活動をつづけながら、32歳で絵画の素晴らしさを世に広めるべく、一台のワゴン車に絵具や筆といった画材を積んで販売を始めた。当時、画家相手の商売は一般的なビジネスとは性質が異なり、代金代わりにその作家の作品を受け取ることもしばしばで苦労したが、元々勤めていた画材店の顧客からの継続的な注文もあって、37歳で姫路市安田に念願のギャラリーを開いた。ギャラリーでは「地元作家の役に立ちたい、ともに成長できる関係でありたい」という想いから、月1回ほどのペースで展覧会を開催した。オリジナル企画の「私の一点展」は画家本人が選んだ渾身の作品一点を展示し入館者にじっくり鑑賞してもらおう人気のシリーズだ。その後、息子が大学を卒業し、仕事を継ぐ意思を示したことをきっかけに現在の場所へ移転、今年の1月で40周年を迎える。

芸術業界のトレンドは変化する

河崎氏が絵画の道を歩むと決意した頃から、芸術業界は大きく変化している。美術品が銀行の担保にもなっていた頃はコレクターも多く、絵画は盛んに流通していた。当時コレクターや美術館などにも多くの作品を納めてきた。しかし、バブルが崩壊し絵画の間屋がいなくなったことや、生活様式が変化し絵画や芸術品を飾るスペースを設ける家庭が減少したこともあり、絵画を所持する人は少なくなっている。また、絵画を見て「おもしろい」と感じるポイントも時代によって変化していて、最近では、これまでの描写力・具体性のあるものから、色合いやデザインが独創的な抽象的なものが好まれる傾向にある。

若手芸術家の育成と姫路の文化芸術の発展を目指して
絵画を通じて心豊かな人生を

ギャラリー河崎 代表 河崎省三

一生使える画材・魂のこもった作品

同店の1階で販売する画材や額縁は「良いものを長く」使えるようにその質の良さにこだわったものばかりだ。例えば、ロシアのイタチ毛で作られた筆は、毛の一本一本に弾力があり切れにくい。額縁は時間が経つほど渋みが出て味わい深くなる一生ものだ。何を描くのか、どんな風合いにしたいのか相談に乗り、最適な画材の提案ができるのも絵画の見識が深い河崎氏だからこそ。2階のギャラリーでは河崎氏がヨーロッパなど各国から買い付けた作品や河崎氏自身が描いた作品が展示されている。写実が中心でどれも魂のこもった作品だ。さらにギャラリー運営の傍ら、河崎氏は絵画教室の講師も務め、色鉛筆・水彩・油絵など様々なジャンルを教えている。すべてに共通するが、描写するときには「見る」が7割、「描く」が3割のバランスで、対象物をよく観察することが基本だという。また色の配置ひとつで表現の幅が大きく広がる。河崎氏は、絵画を描くことが夫婦間の会話のきっかけになったり日頃の楽しみが増えればと考える。

今後の展望

河崎氏は「40周年を迎えることができたのはお客様のおかげ。これからも、あってよかったお店を目指してお客様に還元していきたいです。また、若い世代を中心に絵画に関心を持つ人が増えればと願います。絵を見る喜びや幸せ、絵を描く楽しさを多くの人に経験してほしいです。絵を通して一人でも多くの方が心豊かに過ごせれば。」と語った。同店の今後の活躍に期待したい。

DATA

事業内容：画材・絵画販売、画廊
所在地：〒670-0084 姫路市東辻井3-172-9
電話：079-291-5885
営業日：月曜～土曜 9:30～18:00(日・祝休業)